

議案・行政関係説明資料

令和2年6月9日

議案関係

<予算>【令和2年度一般会計補正予算（第3号）】

■ 新型コロナウイルス感染症対策関連補正予算

- ・ 民生委員・児童委員、主任児童委員の活動を支援 資料1
- ・ 産後サポート・ケアにおける感染防止対策 資料2
- ・ 6月分の保育料を無償化 資料3
- ・ 保育所・幼稚園・小中学校の6月分の給食費を無償化 資料4
- ・ 避難場所の感染対策と新たな避難場所への備蓄 資料5
- ・ 幼児教育の質の向上のための緊急環境整備 資料6

■ 通常補正予算

- ・ 鴻荃放課後児童健全育成室と小学校を複合化 資料7
- ・ 地域農業の担い手の育成・確保 資料8
- ・ 道路・水路の整備等を実施 資料9
- ・ 旧川浚渫（河道掘削）の推進 資料10
- ・ 種足ふれあいの森 木橋改修 資料11
- ・ 通級指導教室の新設 資料12

行政関係

■ 新型コロナウイルス感染症対策

・市役所本庁舎の 3 密回避と執務環境の改善……………資料 1 3

■ 災害対策

・災害対策情報収集室の設置……………資料 1 4

民生委員・児童委員、 主任児童委員の活動を支援

～地域福祉の推進～

福祉部地域福祉課

新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した活動費用を助成

■ 目的

民生委員等の方々には、新型コロナ感染拡大防止のため、電話での安否確認や相談、見守り世帯を訪問する場合には訪問前後に電話をかけ玄関先にメッセージを置いたり、顔を合わせる時にはマスクの着用や一定の距離を置くなど、お互いの感染予防に配慮していただいております。

そのため、通常よりも活動負担が増大しており、市がこうした感染拡大防止に配慮した活動費用を助成するため、特別交付金を交付します。

■ 補正予算の概要

（１）交付金額

１人当たり １０，０００円（一律）

新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した活動の例

- ・ マスクの着用や消毒液等の使用など
- ・ 電話による安否確認や相談
- ・ 見守り世帯を訪問する際、前後に電話をかける。
- ・ 玄関先にメッセージ（個人情報に配慮して封筒に封入）を置く。

（２）対象

加須市民生委員・児童委員、主任児童委員 （233 人 ： R2. 4. 1 委員数）

■ 補正予算額 ２，３３０千円

■ 事業名

民生委員・児童委員活動推進事業

産後サポート・ケアにおける 感染防止対策

～日本一子どもを産み育てやすいまちを目指して～

こども局子育て支援課

産後サポート・ケア事業における新型コロナウイルス感染防止

■ 目的

産後サポート・ケア事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、産後の母子と対面による保健指導等を行うものです。事業が安全に実施できるよう、衛生管理に必要な消耗品・備品を購入し、利用者・担当助産師及び委託医療機関への配布・設置を行います。

■ 補正予算の概要

（１）産後ケア（デイサービス型：スピカレディスクリニックに委託）

授乳が困難な状況のまま退院した人や、心身の疲労が蓄積している人などが病院に来所し、産後のケアを行う事業

・ マスク	100 枚	}	244, 200 円
・ 消毒液	6 本		
・ 非接触型体温計	1 本		
・ 空気清浄機	1 台		

（２）産後ケア（訪問型：助産師に委託）

助産師が居宅を訪問して、保健指導等を行う事業

・ マスク	50 枚	}	19, 800 円
・ 消毒液	5 本		

（３）産後サポート（Happy ママくらぶ）

毎月１回、乳児（９か月まで）の母子を対象に育児不安を解消するための学習会を開催する事業

・ マスク	300 枚	}	112, 200 円
・ 消毒液	24 本		
・ 非接触型体温計	1 本		

■ 補正予算額 377千円【国庫補助金377千円】

■ 事業名

産後サポート・ケア事業

6月分の保育料を無償化

～子育て世帯の生活を支援～

こども局保育幼稚園課

0～2歳児クラスの6月分の保育料（約600人分・約1400万円）を無償化します。

■ 目的

緊急事態宣言は解除され、段階的に経済活動が再開しつつありますが、未だに経済状況は不安定で就労状況も回復途上にあることから、子育て世帯の生活を支援するため、0～2歳児クラスの6月分の保育料については、市内の保育所に通う子育て世帯からは徴収しないこととし、認定こども園等に通う子育て世帯には、市が園等に対し保育料相当額を支給することにより、無償化します。

■ 無償化される6月分保育料

(1) 保育料を徴収しないもの（歳入を減額）

(影響人数は R2. 5. 1 現在)

区分	影響人数	金額
加須市立保育所・私立保育園	511 人	11, 893, 000 円

(2) 保育料相当額を認定こども園等に支給するもの（歳出を増額）

区分	影響人数	金額
認定こども園等	65 人	1, 667, 000 円

(3) 総人数・総額

(1) + (2) 合計	576 人	13, 560, 000 円
--------------	-------	----------------

■ 補正予算額

事業名	歳入	歳出
保育所入所委託費保護者負担金（保育料）	▲11, 893 千円	
民間認定こども園・幼稚園等給付費支給事業		1, 667 千円

保育所・幼稚園・小中学校の 6月分の給食費を無償化

～子育て世帯の生活を支援～

学校教育部学校給食課・こども局保育幼稚園課

保育所、認定こども園、幼稚園、小・中学校の6月分の給食費
（約1万人分・約4200万円）を無償化します。

■ 目的

緊急事態宣言は解除され、段階的に経済活動が再開しつつありますが、未だに経済状況は不安定で就労状況も回復途上にあることから、子育て世帯の生活を支援するため、6月分の給食費については、公立の保育所、幼稚園及び小・中学校に通う子育て世帯からは徴収しないこととし、私立の保育園、幼稚園及び認定こども園に通う子育て世帯には、公立保育所の給食費と同等の額（上限5,000円）を助成することにより、実質無償化します。

■ 無償化される6月分給食費

（1）給食費を徴収しないもの（歳入を減額） （影響人数は R2.5.1 現在）

区分	影響人数	金額
公立保育所等給食費	265 人	1,325,000 円
公立幼稚園給食費	662 人	1,576,300 円
小学校給食費	5,362 人	20,375,600 円
中学校給食費	2,842 人	12,504,800 円
小計	9,131 人	35,781,700 円

（2）公立保育所給食費同等額（上限5,000円/人）を助成するもの（歳出を増額）

区分	影響人数	金額
私立保育園給食費	980 人	4,900,000 円
私立幼稚園給食費	170 人	850,000 円
私立認定こども園給食費	170 人	850,000 円
小計	1,320 人	6,600,000 円

（3）総人数・総額

（1）＋（2）合計	10,451 人	42,381,700 円
-----------	----------	--------------

■ 参考

学校給食センター管理運営事業補正予算額の内訳

（単位：千円）

歳入		歳出	
[4月・5月分]給食未提供	▲74,922	[4月・5月分]賄材料費	▲74,832
[6月分]給食費無償化	▲34,456	[夏期授業分]賄材料費	35,065
[8月分]夏期授業実施	35,064	[夏期授業分]委託料	5,086
		[夏期授業分]職員人件費	2,445
	▲74,314		▲32,236

避難場所の感染対策と 新たな避難場所への備蓄

～水害対策・震災対策の強化～

環境安全部危機管理防災課

避難場所に感染症対策としてマスク等を追加で備蓄
新たに指定する水害時避難場所へ開設用品等を備蓄

■ 目的

災害時における新型コロナウイルス感染症対策を図るため、水害時避難場所と震災時避難場所へ、必要となる消耗品等を備蓄します。

また、台風第 19 号対応の検証を踏まえ、避難場所の充実を図るため、新たに指定する水害時避難場所へ、必要となる消耗品等を備蓄します。

■ 対策の概要

（１） 新型コロナウイルス感染症対策 5, 916 千円

水害時避難場所及び震災時避難場所へ、コロナウイルス感染症対策を図るために必要となる次の消耗品等を備蓄する。

- ・ マスク（通常分に加えて備蓄）
- ・ 除菌用ハンドソープ
- ・ 使い捨て薄手ゴム手袋（消毒用）
- ・ ダスター（消毒用）
- ・ 非接触型体温計（各施設に 1 個）
- ・ ビニールロール（市外広域避難場所及び民間施設の避難場所用）

※パーテーションは、災害協定先から調達して対応

（２） 新たに指定する水害時避難場所への備蓄 1, 466 千円

台風第 19 号対応の検証を踏まえ、新たに指定する 11 箇所の水害時避難場所へ、必要となる次の開設・運営用品（セット）、マスク、消毒液を備蓄する。

【主な開設・運営用品】

- ・ 受付用具（用具箱、筆記用具、マジックセット、セロテープ、ビブス）
- ・ 夜間対策用（ランタン、ヘッドライト、電池）
- ・ 誘導（誘導灯、メガホン）
- ・ その他（養生テープ、ゴミ袋、軍手など）

■ 補正予算額 7, 382 千円

■ 事業名

避難所整備事業

幼児教育の質の向上のための 緊急環境整備

～日本一子どもを産み育てやすいまちを目指して～

こども局保育幼稚園課

新型コロナウイルス感染症対策のため、公立幼稚園に消毒液等を購入

■ 目的

新型コロナウイルスの感染症対策の一環として、幼児教育の質の向上のため環境の緊急整備を行うことにより、質の高い環境で、子供を安心して育てることが出来る体制を整備することを目的とした、令和2年度教育支援体制整備事業交付金に係る「幼児教育の質の向上のための緊急環境整備」を活用し、公立幼稚園に消毒液等の感染防止に必要となる保健衛生用品を購入します。

■ 事業概要

新型コロナウイルス感染症対策のため、公立幼稚園13園で使用する次の保健衛生用品を購入する。

- ・ 消耗品費 手洗い用石鹼液、手指消毒液等
- ・ 備品購入費 非接触型体温計、消毒液ディスペンサー

■ 補正予算額 6, 5 1 9 千円【うち国庫補助金6, 1 1 3 千円】

国庫補助金の内容

- ・ 交付基準額 1 園当たり 500 千円以内
- ・ 負担割合 国 10／10
- ・ 対象経費 新型コロナウイルスの感染防止用の備品等に要する経費等

■ 事業名

公立幼稚園管理運営事業

鴻荃放課後児童健全育成室と 小学校を複合化

～日本一子どもを産み育てやすいまちを目指して～

こども局子育て支援課

鴻荃小学校放課後児童健全育成室を小学校の校舎内に移転

■ 目的

児童の安全の確保や学校との連携の向上を図るため、鴻荃小学校の敷地外にある老朽化した学童保育室（旧鴻荃幼稚園）を小学校の校舎内へ移転します。

■ 補正予算の概要

鴻荃小学校の余裕教室を学童保育室へと改装するための工事及び家電製品や事務用品など必要な備品の購入費

- 工事費 15,156 千円
- 備品購入費 2,380 千円
- 工期 令和2年8月～令和3年2月（予定）
- 定員 45人 → 50人（5人増）

■ 補正予算額 17,536千円【うち国庫・県補助金12,112千円】

財源内訳 国：9,690 千円（補助率 2/3）
県：2,422 千円（補助率 1/6）
市：5,424 千円

■ 事業名

民間放課後児童健全育成事業

地域農業の担い手の育成・確保

～加須元気農業を実現するために～

経済部農業振興課・騎西総合支所農政建設課

地域農業の担い手に対し、農業用機械等の導入費用の一部を補助

■ 事業内容

国の強い農業・担い手づくり総合支援交付金（先進的農業経営確立支援タイプ・融資主体型補助事業）を活用し、地域農業の担い手に対し、経営規模の拡大や経営の複合化等に取り組む際に必要となる農業用機械等の導入費用を助成するものです。

■ 主な採択要件

必須目標と併せて、1 つ以上の事業関連取組目標について、具体的な数値目標を設定した上で、その目標を達成すること。

【必須目標】 付加価値額（収入総額 － 費用総額 ＋ 人件費）の拡大

【事業関連取組目標】 経営面積の拡大、農産物の価値向上、単位面積当たり収量の増加、経営コストの縮減、農業経営の複合化、農業経営の法人化

■ 補正予算額 3, 203 千円【県補助金 3, 203 千円】

（騎西地域第2地区）

- ① トラクター 1 台
- ② ロータリー 1 台
- ③ サイバーハロー 1 台、
カブラーキット 1 式
- ④ ブロードキャスター 1 台

県補助金の内容

- ・ 事業費 11, 748, 000 円
- ・ 補助金 3, 203, 000 円（事業費の 3/10）
- ・ 融資額及び自己負担額 8, 545, 000 円



過年度の同事業で購入したトラクター等

※ 取得に要する経費から融資等の額を除いた自己負担額について、取得に要する経費の 3/10 を上限（最大で法人 1, 500 万円、個人 1, 000 万円）として助成します。

■ 事業名

担い手育成支援事業

道路・水路の整備等を実施

～安心、安全で快適なまちづくりを推進～

建設部道路課・治水課

緊急を要する道路・水路の修繕、道路整備等を実施

■ 事業の目的

緊急を要する道路・水路の修繕、道路整備等の進捗を図ることで、安心安全なまちづくりを推進します。

■ 補正予算の概要

(1) 道路整備 6路線・57橋（補正予算額 84,800千円）

□ 道路維持管理事業 1路線 （補正額）13,000千円

道路環境の安全性と快適性の向上を図り、安全な道路にします。

【騎西地域】 1路線 （補正額）13,000千円

□ 幹線道路側溝事業 2路線 （補正額）32,000千円

幹線道路の浸水対策や道路幅員を有効活用した歩行者の安全確保及び通行の利便性を図ります。

【加須地域】 2路線 （補正額）32,000千円

□ 生活道路側溝事業 1路線 （補正額）2,500千円

生活道路の浸水対策や道路幅員を有効活用した歩行者の安全確保及び通行の利便性を図ります。

【加須地域】 1路線 （補正額）2,500千円

□ 生活道路新設改良事業 2路線 （補正額）21,300千円

生活道路の交通アクセスの確保、日常生活における安全性及び通行の利便性の向上を図ります。

【加須地域】 1路線 （補正額）20,300千円

【大利根地域】 1路線 （補正額）1,000千円

□ 橋りょう維持改良事業 57橋 （補正額）16,000千円

既存橋りょうの点検により、通行の安全性の確保と利便性の向上を図ります。

【加須市全域】 57橋 （補正額）16,000千円

(2) 水路整備 4箇所 (補正予算額 36,460千円)

- 会の川整備支援事業 1箇所 (補正額) 5,060千円
老朽化した水路転落防止フェンスを更新し、安全性の確保を図ります。
【加須地域】 1箇所 (補正額) 5,060千円

- 枝線用排水路改修事業 1箇所 (補正額) 6,500千円
枝線用排水路を適正に維持管理するため、改修工事を実施します。
【大利根地域】 1箇所 (補正額) 6,500千円

- 調整池維持管理事業(市街化区域) 1箇所 (補正額) 9,900千円
老朽化した調整池のポンプの制御盤を更新し、安全性の確保を図ります。
【加須地域】 1箇所 (補正額) 9,900千円

- 旧川浚渫推進事業 1箇所 (補正額) 15,000千円
旧川の河道を掘削して、治水安全度を高めます。
【北川辺地域】 1箇所 (補正額) 15,000千円
※詳細は資料10を参照

■ 補正予算額 121,260千円【うち国庫補助金13,475千円】

旧川浚渫（河道掘削）の推進

～安心、安全で快適なまちづくりを推進～

北川辺総合支所農政建設課

防災・減災のため、旧川の浚渫工事に向けた調査・測量設計を実施

■ 旧川の課題

旧川は、渡良瀬川が蛇行していたころの旧河川で、水害が発生しやすかったことから、明治・大正期の河川改修に伴い残った三日月形の水路です。

現在は、北川辺地域の全ての排水路の流末であり貯水機能を兼ねた重要な水路ですが、旧川河道内に土砂等が堆積したことから、近年の集中豪雨や大型台風時に、道路冠水や農地への出水による被害が発生しています。

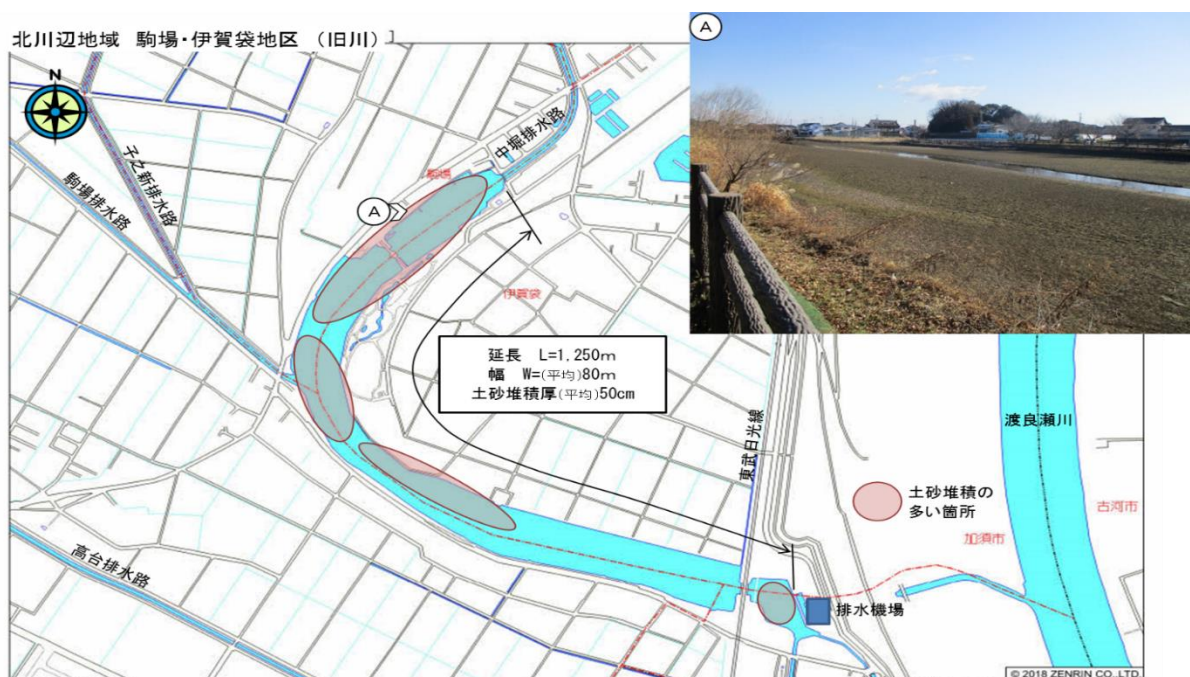
浚渫によって土砂等を撤去することにより、流下能力の改善が図られ、貯水機能の確保が期待でき、集中豪雨等による急激な水位上昇による越水を抑制できます。

本工事は、カスリーン台風以後、水害対策としては最大規模の浚渫工事となります。

■ 事業概要

事業区間	旧川（中堀排水路流入口から渡良瀬川排水樋管まで）約 1.25km
事業期間	令和 2 年度～令和 6 年度
事業内容	旧川河道堆積土砂浚渫 浚渫想定土量約 25,000 m ³
総事業費	5 億 1, 500 万円
年次計画	令和 2 年度 調査・測量・設計 15,000 千円

令和 3 年度～ 令和 6 年度	浚渫工事 500,000 千円 (125,000 千円/年)
---------------------	-----------------------------------



■ 総事業費 5 億 1, 500 万円（補正予算額 15, 000 千円）

国が創設した緊急浚渫推進事業の活用（令和 2 年度採択見込み）

地方財政措置：充当率 100% 元利償還金に対する交付税措置率 70%

■ 事業名

旧川浚渫推進事業

種足ふれあいの森 木橋改修

～豊かな自然と快適な環境のまちづくり～

建設部まちづくり課・騎西総合支所農政建設課

種足ふれあいの森の老朽化した木橋等の改修工事を実施

■ 目的

「種足ふれあいの森」は、平成 11 年度に隣接する埼玉県環境科学国際センターの機能を補完する施設として、環境の特性を踏まえた様々な野外学習の場として、身近な自然環境を復元し、人と自然がいつでもふれあえるように配慮して整備した公園です。

経年劣化により、池に架かる木橋等が老朽化し危険な状況であることから、森林整備やその促進のための財源として国から譲与された森林環境譲与税を活用し改修するものです。

[参考]加須市における森林環境譲与税の活用事例

- ・令和元年度 屋敷林等保全事業（保存樹木・樹林の発掘及び指定など）
- ・令和元年度 「浮野の里」自然環境保全事業（散策木道等改修工事）

■ 事業概要

2 箇年計画で木橋等 5 箇所の整備を実施予定

- ・令和 2 年度 設計 5 箇所、工事 3 箇所 事業費 5, 500 千円
- ・令和 3 年度 工事 2 箇所 事業費 4, 510 千円（予定）



■ 補正予算額 5, 500 千円

森林環境譲与税（地方譲与税）5, 000 千円を活用

■ 事業名

公園整備事業

通級指導教室の新設

～教育環境の整備～

学校教育部学校教育課

特別な配慮を要する子供たちへの支援を充実させます。

■ 事業の目的

通常の学級に在籍している特別な配慮を要する児童生徒に対して、障害による困難を改善・克服するため、週 1 回程度、通級指導教室で一人一人の状況に応じた指導を行います。

加須市内の中学校では初！

【令和 2 年度新設】

発達障害・情緒障害通級指導教室 1 教室（加須平成中）

難聴・言語障害通級指導教室 1 教室（大利根東小）

（参考）令和 2 年度整備後の通級教室数

発達障害・情緒障害通級指導教室 4 教室（加須小・鴻荃小・原道小・加須平成中）

難聴・言語障害通級指導教室 3 教室（三俣小 2 教室・大利根東小）

■ 補正予算額 10,001 千円

補正予算の内訳

- | | |
|-------------------------------------|----------|
| （１）指導の充実を図るため通級指導教室担当者の研修を実施 | 56 千円 |
| （２）集中して障害による困難の改善・克服に努められるよう教室環境を整備 | |
| ○電話工事（２教室） | 219 千円 |
| ○大利根東小学校（難聴・言語障害通級指導教室） | 5,803 千円 |
| ○加須平成中学校（発達障害・情緒障害通級指導教室） | 3,223 千円 |
| （３）学びを支援するため備品や教材・教具の充実（２教室） | 700 千円 |

■ 事業名

特別支援教育推進事業

市役所本庁舎の3密回避と 執務環境の改善

～安心・安全な市民サービスの提供～

総務部総務課

3密回避のための「一時的」な執務スペース確保を「恒久化」

■ 目的

今般の新型コロナウイルス感染症対策（3密回避）のため、特に密集していた部署の執務スペースを一時的に会議室に移すなどの対策を行っています。

新型コロナウイルス感染症対策を継続する必要性を踏まえ、一時的な対策であった会議室から執務スペースへの転用を早急に恒久化することにより、職場環境等の改善を図ることを目的とします。

■ 対応方針

（１）５階会議室の有効活用

５階会議室の一部については、恒久的に執務スペースとして活用できるよう転換する。

こども局 （子育て支援課・保育幼稚園課）	1階 ⇒ 5階（現 502会議室）
管理契約課	2階 ⇒ 3階（現 行政委員会室）
行政委員会	3階 ⇒ 5階（現 503会議室の一部）

（２）他の公共施設における会議の開催

５階会議室の一部を執務スペースとして転換することに伴い、会議室の不足が見込まれることから、他の公共施設（総合支所、体育館、保健センター、コミュニティセンター、公民館など）を活用する。

■ 主な整備内容

- （１）案内表示、掲示板、ローカウンター等及びパーティションの設置
- （２）LAN配線、電気配線及び電話配線の構築
- （３）コピー及びファクシミリの配置

■ 整備費用・整備時期

予備費 10,755千円・7月下旬

災害対策情報収集室の設置

～水害対策・震災対策の強化～

建設部治水課・環境安全部危機管理防災課・総務部総務課

災害時において、様々な情報を総合的に把握し、関係機関等との情報連携を行う「災害対策情報収集室」を設置

■ 目的

令和元年台風第 19 号対応における課題である、災害対策本部の設置・運営内容の対策として、迅速・的確な情報を基に災害対策本部で協議し、最終的な意思決定を行うために必要な情報を収集する「災害対策情報収集室」を設置します。

災害対策情報収集室では、台風の勢力、降雨予測、河川の水位などの複数の気象情報等を総合的に把握していくほか、関係機関、部署等と本部との情報連携を円滑に行うとともに、避難情報発令等の検討を行います。

■ 対応の概要

- (1) 台風の勢力、雨量予測、水位予測、水位等の情報を映像で常時収集するための機材や環境（ブラインドを含む。）等を整備
・ モニター等環境の整備（下図参照）
- (2) 災害対策本部と関係機関・団体及び総合支所との情報連携体制の充実のため、災害時優先電話及び電話機等を拡充
- (3) 室内環境等の整備のため、情報収集機材や空調機の設置等に必要な電気配線・設備等を整備
- (4) 情報収集・集約体制の効率を高めるため、災害対策情報収集室を災害対策本部、コールセンターと同じフロアに設置

モニター表示内容及び出力端末の構成



■ 整備予算・整備時期

予備費 5,182 千円・7月下旬